

「高校における竹島学習」のあり方検討会の検討状況について（報告）

佐々木 茂/馬庭寿美代

1. これまでの公立高等学校・特別支援学校（計55校）における「竹島学習」
～「竹島」の指導に関する調査より～（馬庭）

- ※「竹島」の指導に関する調査
- ・平成17年度より全県立学校に対し調査
 - ・平成19年度からは「竹島の指導について（通知）」を发出の上、調査

○実施率

- ・100%（平成22年度）（「竹島の日前後に実施」または「教科学習の中で実施」）

○実施例（主なもの）

- ・「竹島の日」前後に実施
 - S HR（朝礼または終礼）を利用して担任が指導する。
 - 「竹島問題を理解するための10のポイント」、「フォトしまね」等を参考に、学校で資料プリントを作成して実施する学校が多い。
- ・教科学習の中で実施
 - 「地理歴史科」「公民科」の「領土問題」等を扱う単元で教科担任が指導する。特に「地理」や「現代社会」の授業で、教科書や副教材（資料集・図表）を使用しながら実施する学校が多い。

2. 今後の「あり方検討会」の実施について
～第3回「あり方検討会」の検討結果より～（佐々木）

○第3回「あり方検討会」の開催

- ・平成23年8月17日（水）10:00～17:00 於・県庁舎会議棟
- ・検討会構成員6/7名、事務局1名
- ・検討内容：「LHR指導案」検討に当たっての課題、論点整理 等

○今後の進め方について

- ・義務教育学校での実施状況をふまえたLHR指導案の作成と検討
- ・教科学習における指導案の作成と検討
 - 科目：地理歴史科2科目（世界史、地理）、公民科1科目
- ・第4回「あり方検討会」（10月4日（火）10:00～17:00）予定